

平成28年第1回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

平成28年5月12日（木）

開会 午後3時28分 閉会 午後4時3分

2 開催場所

相馬市役所 3階 庁議室

3 出席した構成員

相馬市長	立谷秀清
教育委員長	宗形明子
教育委員	森陽子
教育委員	菅野明彦
教育委員	関根進
教育長	堀川利夫

4 欠席した構成員

職務代理者 小畑強子

5 事務局関係

（相馬市）

企画政策部長	宇佐見清
企画政策課長	横山哲也
企画政策課長補佐	荒川誠

（相馬市教育委員会）

教育部長	持館直正
総務課長	齋藤典雄
学校教育課課長	渡邊義人
総務課庶務係長	小関善之

6 傍聴人

なし

7 協議事項

1 重点的に講ずべき施策について

① 相馬市立玉野幼稚園、玉野小学校、玉野中学校の廃校について

8 議事の経過

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議

1 重点的に講ずべき施策について

①相馬市立玉野幼稚園、玉野小学校、玉野中学校の廃校について

○ 協議結果

6月定例市議会に玉野小学校及び玉野中学校の廃校と、玉野幼稚園を廃園とするための条例の改正案を提案することとする。

○ 協議内容

<立谷市長>

まず、教育委員の皆さまからの意見を伺います。

<関根委員>

現状を考えれば、廃校とすることは止むを得ない考える。

仮に生徒が1人になった場合を考えると、可哀そうにも感じるため、提言のとおり、廃校とすることで進めることで良いのではないか。

<宗形委員長>

この人数では、学校として成り立たないのではないかと考えている。

玉野地区の住民に対し、これだけ説明を重ねてきたことを考慮すれば、既に合意形成が成されているものと考えます。

この事を考えれば、学校のあり方検討委員会からの提言書は、既に手を尽くしたものと受け止めております。

<菅野委員>

人数からしても、学校のあり方を考えると、廃校は止むを得ないと考えます。

前回も申し上げましたが、児童生徒の通学に対する支援をしっかり行えば、住民の理解も得られると考えます。

<森委員>

止むを得ないと言う意見があっても、市民から賛成とする意見が得られたことで、とても安心している。

子供の将来を考えると、小規模で教育を続けることがプラスに感じることはできなかったのも、統廃合とすることは賛成です。

<教育長>

仮に来年も存続させたとき、小学5年生の児童が中学校を卒業するまでに、転校生でもなければ平成32年度には生徒がいなくなりますので、あと数年の問題となります。

この様な点からも、この人数では教育は出来ないと考えます。

併せて、小中学校が廃校となれば、幼稚園についても連動して廃園とすることは止むを得ないものと考えます。

<立谷市長>

玉野地区にとって、地域から教育が無くなることは、とても辛いことと考えている。

前回の会議以降、十分な説明と手続きを行ってきたことを考慮し、6月市議会への提出を決めたいと思います。

2 その他

①中村第二中学校校舎改築について

<概要説明>

補助金の4億5000万円が採択とならなかったため、当初に予定していた計画のとおり建築する事が出来なくなった。

あらためて予算の確保を含めて、時間をかけて協議しなければならなかった。

4 閉会